

中野駅南口地区における駅前広場整備の進捗状況および説明会の実施について

中野駅南口地区で整備を計画している駅前広場等の基盤整備については、中野駅地区整備基本計画（平成30年第3回定例会報告）に基づき設計を進め、令和4年度に関係機関との基本的な協議を整え、成果を取りまとめたところであり、現在、組合により令和6年度の工事着工に向けて協議と調整を進めている。

今般、駅前広場の設計と整備に向けた取り組み状況などについて、以下のとおり報告する。

1. 駅前広場の計画概要

①都市計画名称	中野区画街路第5号線
②都市計画面積	約4,150㎡（嵩上部約150㎡を含む）
③都市計画経緯	平成27年3月6日 都市計画決定
④都市計画認可	平成28年5月12日 事業認可

2. 駅前広場の設計

別添資料「中野駅南口地区駅前広場 整備計画（案）」のとおり

3. 今後の取り組みについて（予定）

中野駅南口地区では駅前広場工事に係る歩行者の迂回措置や、工事ヤードの展開などを順次進めていく予定であり、進捗状況について適時報告していく。

令和5年9月4日・10日 中野駅新北口駅前広場及び南口駅前広場整備概要に係る説明会

令和6年度 中野駅南口駅前広場整備工事着手

令和7年度 土地区画整理事業完了

既存駅前広場の現状

○ 駅前広場の面積が狭く、歩行者空間や自動車交通の処理空間が不足している。

【課題①】 混雑する公共交通

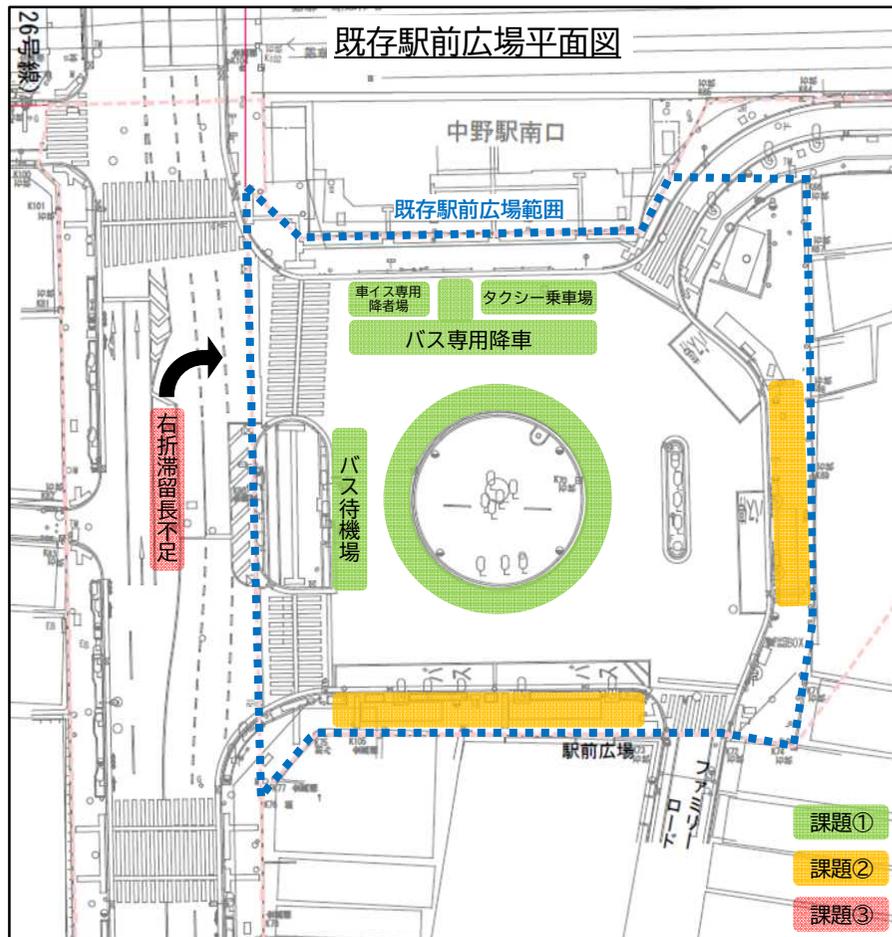
- 降車バスとタクシー乗車待機車列が二重駐車の状態
- タクシー待機スペースがなく、円形花壇廻りでの駐車

【課題②】 歩行者空間の不足

- 歩道幅員が狭く、また歩行者の滞留空間が不足

【課題③】 駅周辺の交通動線等

- 南口駅前広場へ進入するバス・タクシーの右折待ちにより、直進車の通行を阻害

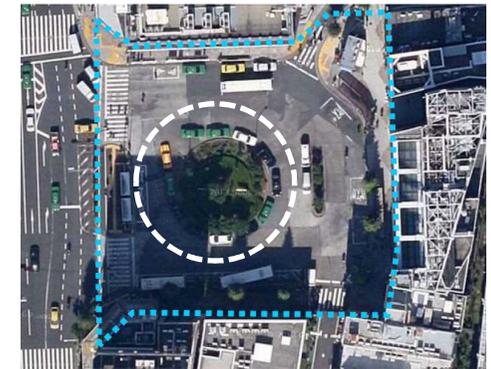


課題①



バス・タクシーが輻輳する駅前広場

課題①



タクシーの待機状況

課題②



歩行者の通行状況

課題③



※直進車両の通行を阻害

中野駅南口交差点付近の交通状況

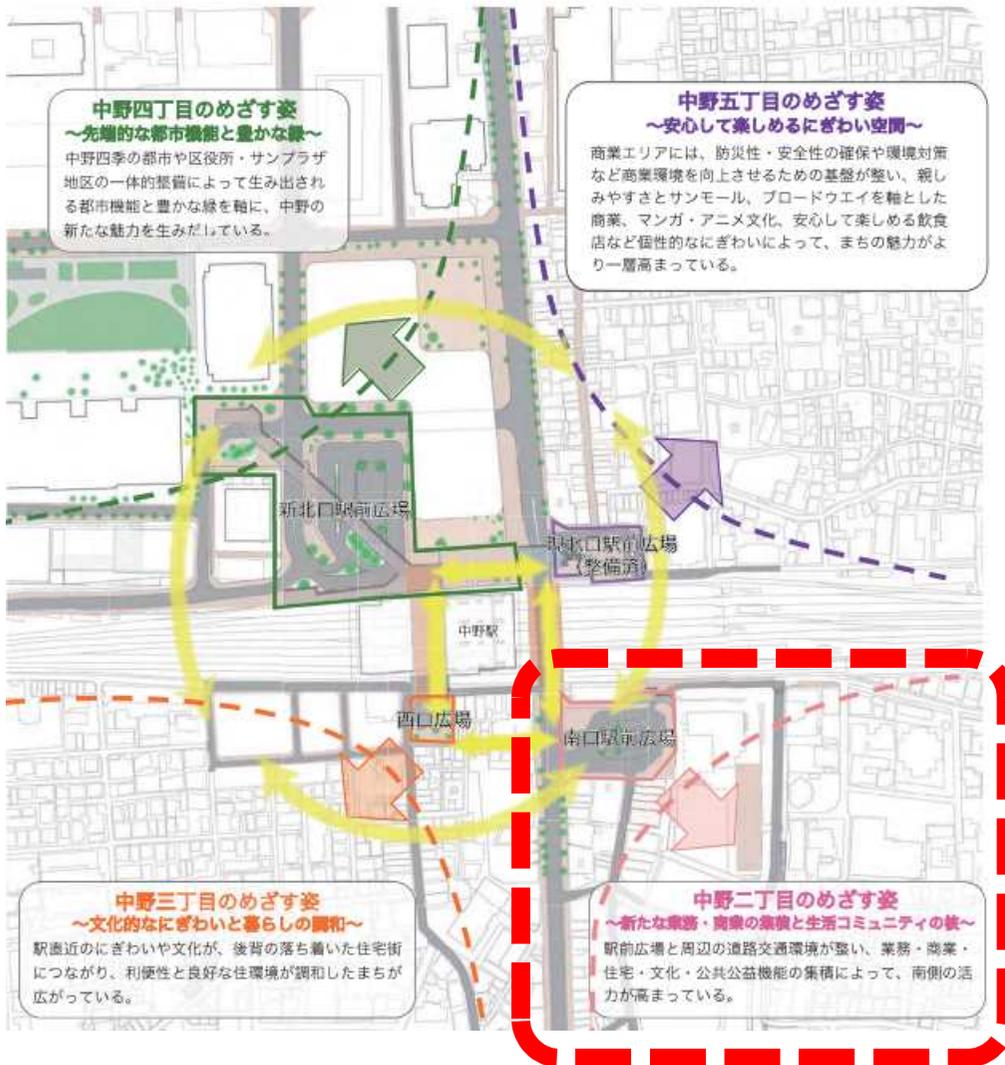
1. 中野駅周辺の駅前広場整備のコンセプト

(「中野駅駅前広場デザイン等整備方針」より)

《中野駅周辺の回遊性を高め にぎわいと交流を生み出す》

●中野駅周辺の4つの「まち」のめざす姿

中野駅周辺の各駅前広場と広場を結ぶ動線は、「中野駅周辺まちづくりランドデザインVer.3」に示す「駅周辺各地区のめざす姿」に基づき整備を行い、中野駅周辺全体の魅力を高めます。



2. 南口駅前広場の整備方針 (「中野駅駅前広場デザイン等整備方針」より)

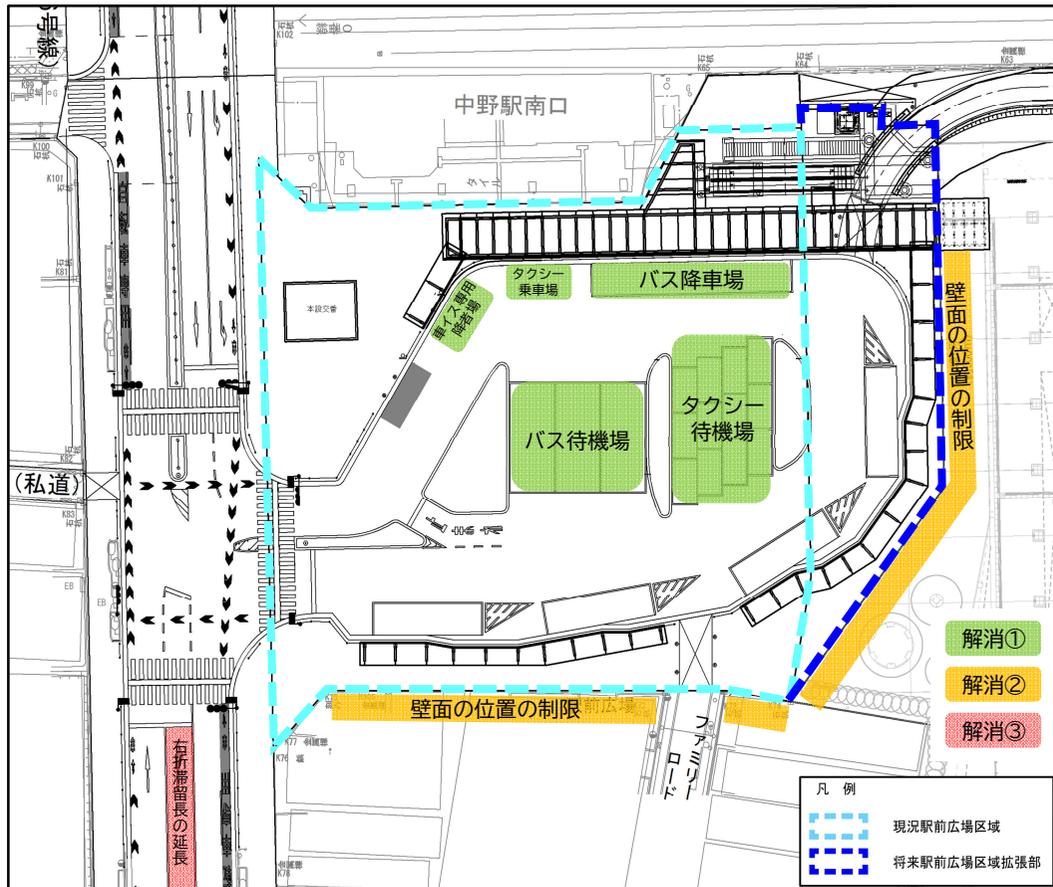


再整備の内容

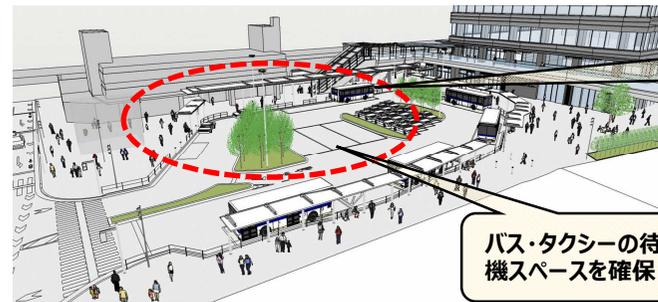
○ 中野二丁目市街地再開発事業と連携した駅前広場の拡張整備（面積約3,300㎡ → 約4,150㎡（嵩上げ含む））

- 【解消①】 公共交通の輻輳解消**
 - バス降車・タクシー乗車スペースを分離し、歩道に面してそれぞれを整備
 - バス・タクシーの待機スペースを広場中央部にそれぞれ整備
- 【解消②】 歩行者空間の確保**
 - 壁面の位置の制限を定めることで、歩道と一体となった歩行者空間を創出
- 【解消③】 駅周辺の交通動線等**
 - 交差点を一つに集約し、中野通りから駅前広場に右折する車両の滞留長を確保

駅前広場整備計画図

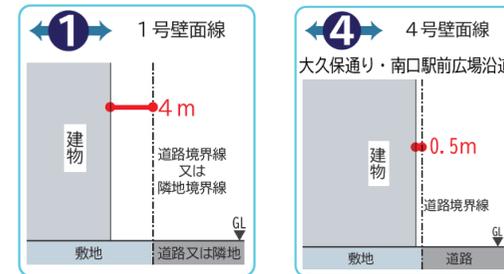


解消①

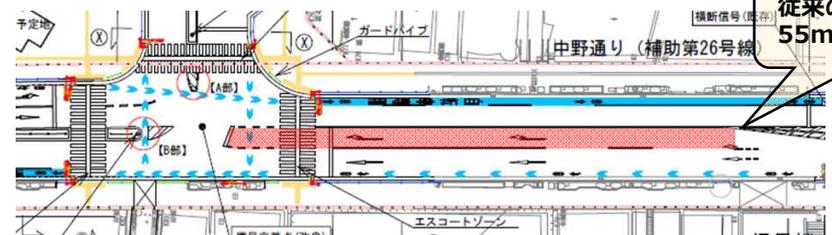


整備後の駅前広場イメージパース

解消②



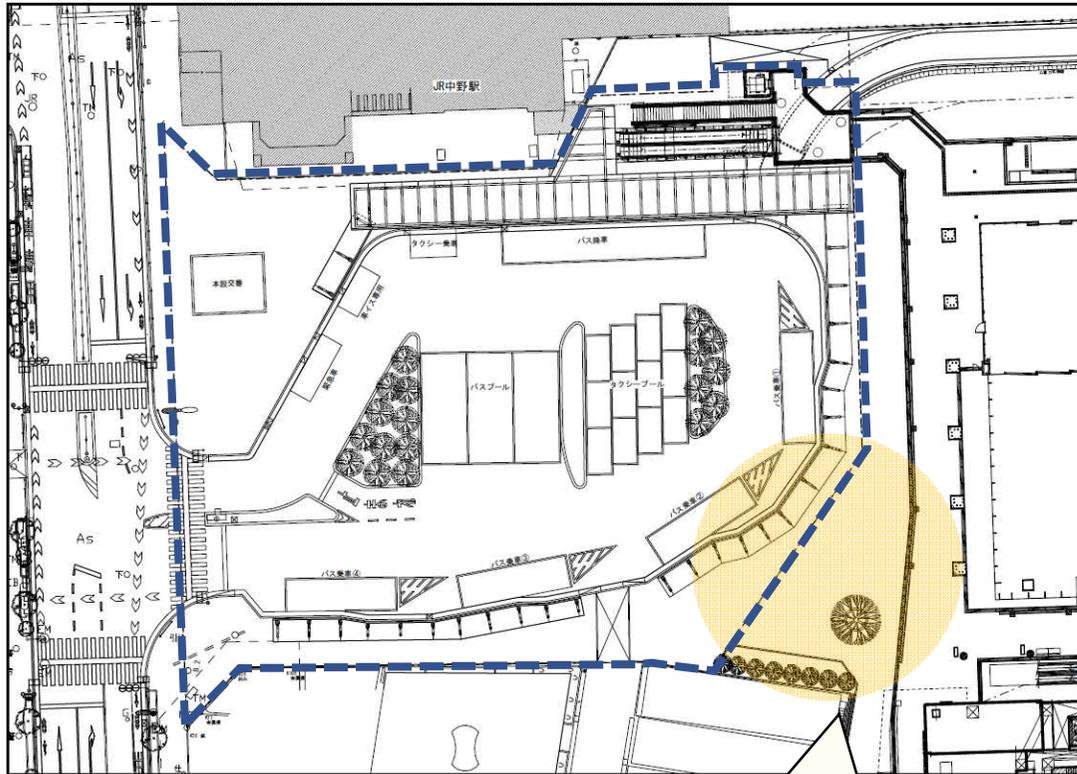
解消③



中野通り右折車線整備図

【基本方針】

- 再開発施設広場と連続し、**一体的なたまり空間**を形成する。



凡例

■ 駅前広場範囲（将来）

駅前広場と再開発施設広場が
一体となり、たまり空間を形成

※現時点の設計図であり、今後変更となる可能性があります。

再開発施設広場・ファミリーロードの鳥瞰



再開発施設1階から再開発施設広場方面

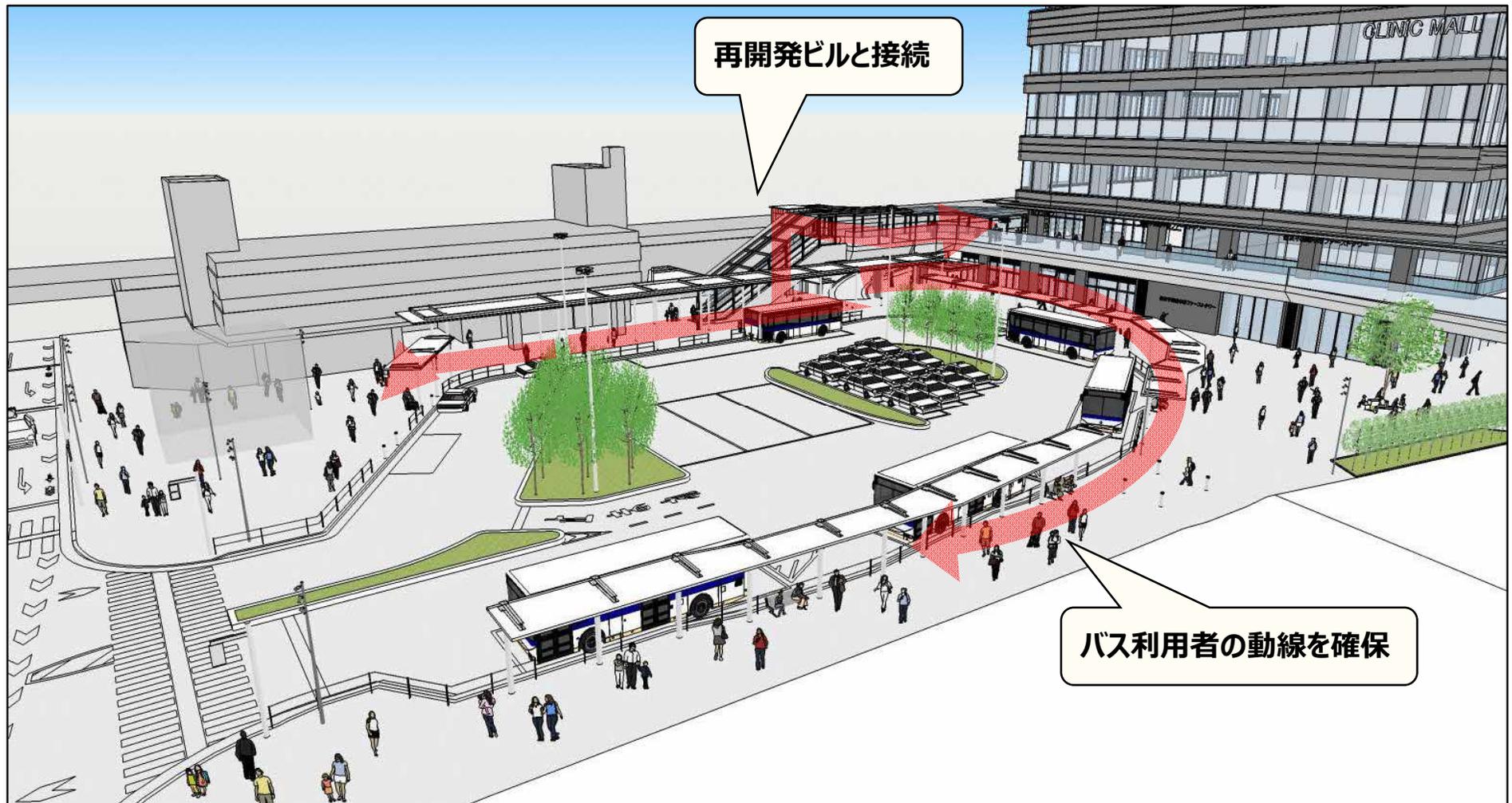


※現時点のイメージであり、今後変更となる可能性があります。

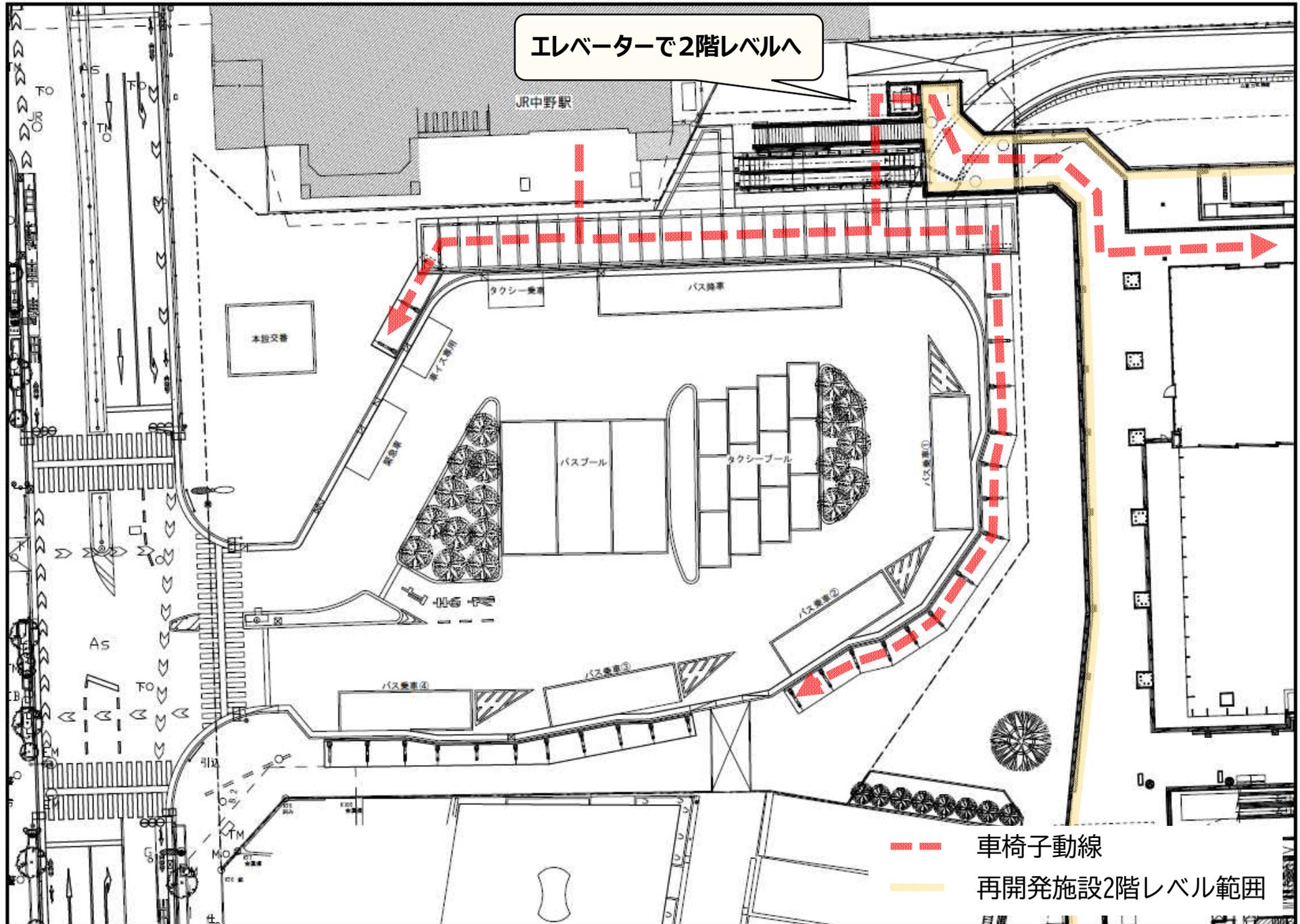
【基本方針】

- 中野駅に降り立った後、再開発ビル及び公共交通機関（バス・タクシー）を利用する方のうち、車いす利用者が、できる限り、**雨に濡れずに移動できる動線**を確保する。

《整備後の駅前広場イメージパース》



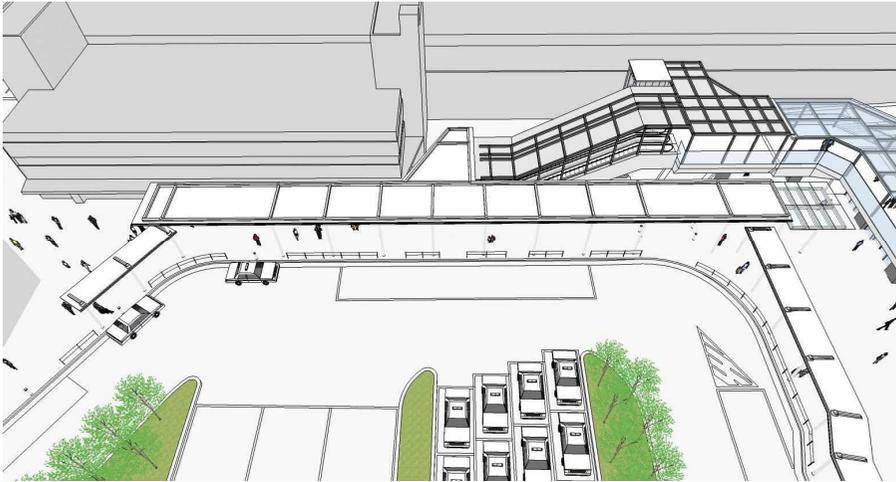
※現時点のイメージであり、今後変更となる可能性があります。



※現時点の設計図であり、今後変更となる可能性があります。

整備後の駅前広場シェルターイメージパース

鳥瞰



中野駅舎から広場方面



再開発施設から中野駅舎方面



ファミリーロードから広場方面



【基本方針】

- 地域の歴史に根ざし、現在の駅前広場に植えられている桃の木 (18本) を移植する。



駅前広場現況植栽帯(ハナモモ・移植)

- テルテモモの特徴
- ・開花期：3月～4月
 - ・樹形はコンパクトで縦にまとまった形。
 - ・日当り、排水の良い場所を好む

<中野通り交差点付近から駅前広場を見る <---> >

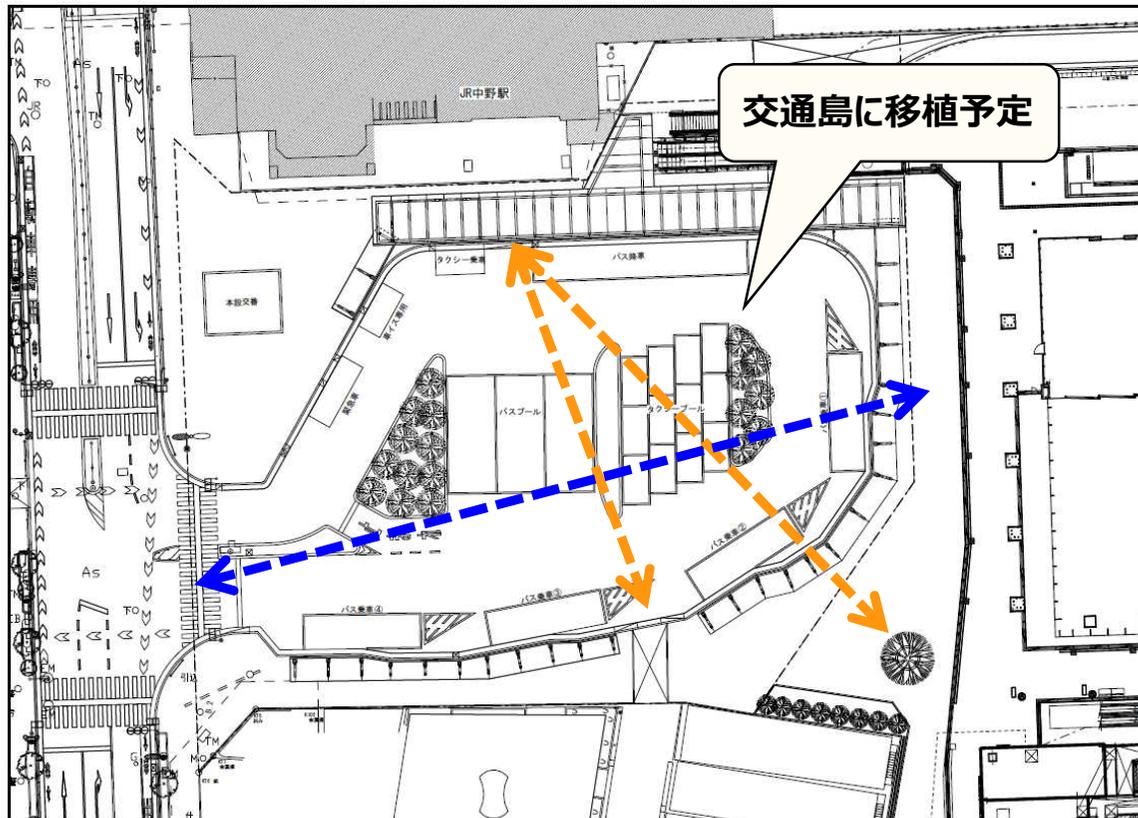


駅前広場に入る際、正面に見えるシンボルツリーとして、両側の交通島には地域の名称でもある桃の木を植樹。(既存樹を移植)

<駅前から再開発ビル広場・ファミリーロードを見る <---> >



駅前～広場・ファミリーロードの見通しや、車の見通しを確保する為、中央の交通島は高木を植えず、低木・地被類のみを植樹。

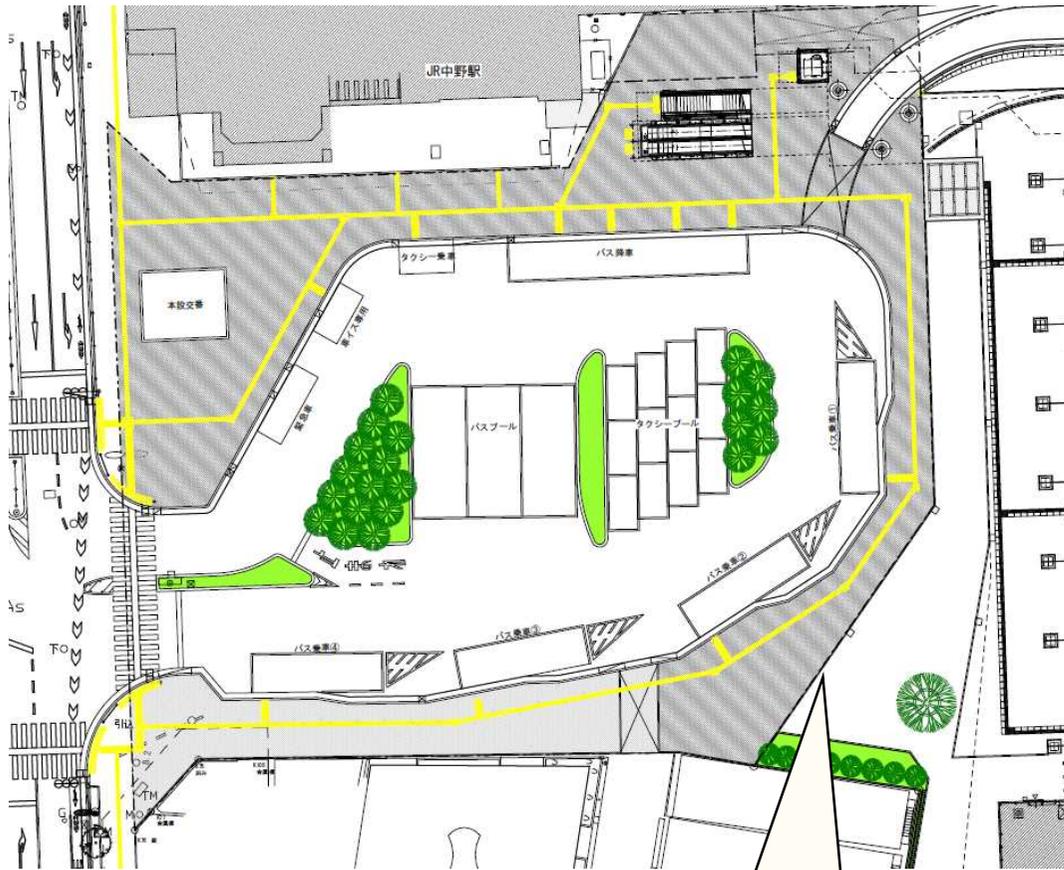


※現時点の設計図であり、今後変更となる可能性があります。

【基本方針】

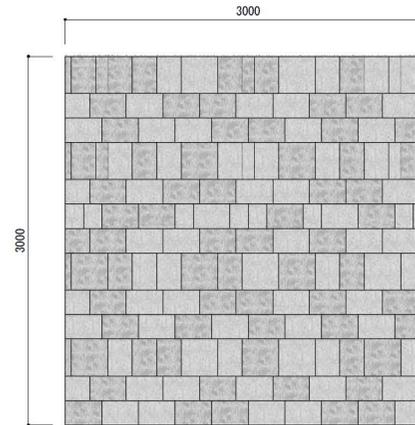
- 再開発ビルと舗装の色彩を統一し、歩行者空間の連続性や一体感を配慮した舗装とする。(グレー系)
- 雨水流出抑制の視点から、雨水を地表面より地中に浸透させる透水性コンクリート平板を採用。

<歩道舗装平面図>

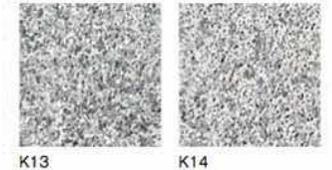


※現時点の設計図であり、今後変更となる可能性があります。

<歩道舗装イメージ>



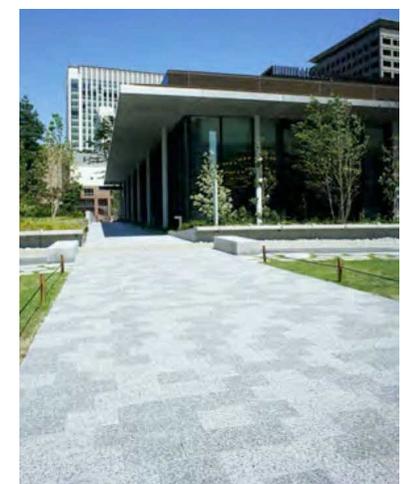
《使用材料イメージ》



<使用事例>

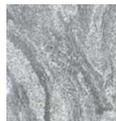


日本橋室町三越前



千代田区紀尾井町

《使用材料イメージ》



再開発ビル前・広場1号は、御影石舗装/グレー系を採用